

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】令和 4 年 1 月 11 日 (2022.1.11)

【公表番号】特表 2021-506246 (P2021-506246A)

【公表日】令和 3 年 2 月 22 日 (2021.2.22)

【年通号数】公開・登録公報 2021-009

【出願番号】特願 2020-531982 (P2020-531982)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/117 (2010.01)

C 1 2 N 15/63 (2006.01)

C 1 2 N 15/86 (2006.01)

A 6 1 K 31/7088 (2006.01)

A 6 1 P 37/04 (2006.01)

A 6 1 P 31/00 (2006.01)

A 6 1 K 39/00 (2006.01)

A 6 1 K 47/54 (2017.01)

A 6 1 K 9/12 (2006.01)

A 6 1 K 35/76 (2015.01)

A 6 1 K 47/60 (2017.01)

【F I】

C 1 2 N 15/117 Z N A Z

C 1 2 N 15/63 Z

C 1 2 N 15/86 Z

A 6 1 K 31/7088

A 6 1 P 37/04

A 6 1 P 31/00

A 6 1 K 39/00 G

A 6 1 K 47/54

A 6 1 K 9/12

A 6 1 K 35/76

A 6 1 K 47/60

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 12 月 2 日 (2021.12.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも 1 つの C p G モチーフ及び 3' コレステリル部分を含む免疫刺激性オリゴヌクレオチド。

【請求項 2】

免疫刺激性オリゴヌクレオチドのヌクレオチド間にホスホジエステル結合またはホスホロチオエート結合を含む、請求項 1 記載の免疫刺激性オリゴヌクレオチド。

【請求項 3】

コレステリル部分がリンカーを介して免疫刺激オリゴヌクレオチドの 3' 末端ヌクレオチドに共有結合されている、請求項 1 または 2 に記載の免疫刺激オリゴヌクレオチド。

【請求項 4】

多数のチミンヌクレオチドを含む 3' 末端配列を含む、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の免疫刺激性オリゴヌクレオチド。

【請求項 5】

免疫刺激性オリゴヌクレオチドが、配列番号 2、3、4、5、6 又は 8 を含む、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の免疫刺激性オリゴヌクレオチド。

【請求項 6】

免疫刺激オリゴヌクレオチドの 3' 末端配列が多数のグアニンヌクレオチドを含む、請求項 4 に記載の免疫刺激オリゴヌクレオチド。

【請求項 7】

免疫刺激性オリゴヌクレオチドが配列番号 7 を含む、請求項 6 に記載の免疫刺激性オリゴヌクレオチド。

【請求項 8】

免疫刺激性オリゴヌクレオチドが (TCG)_n を含み、ここで n は 3 と 10 の間である、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の免疫刺激性オリゴヌクレオチド。

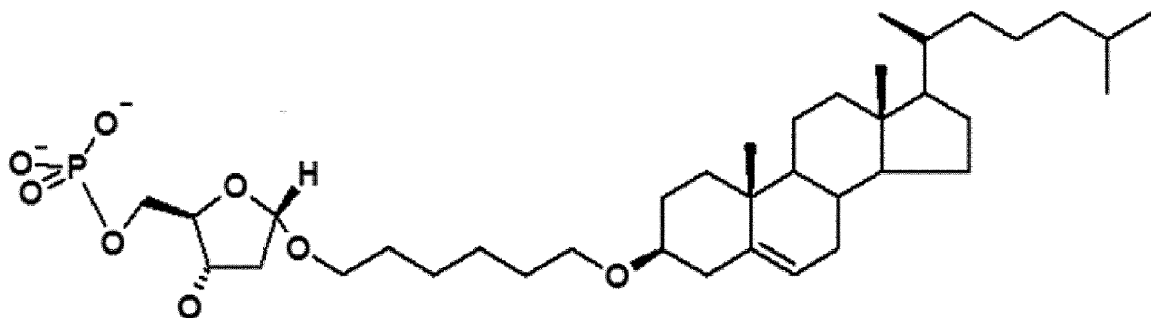
【請求項 9】

リンカーが炭素鎖を含む、請求項 3 ~ 8 のいずれか一項に記載の免疫刺激性オリゴヌクレオチド。

【請求項 10】

次の構造を有するコレステリル - リンカー部分を含む、請求項 9 に記載の免疫刺激性オリゴヌクレオチド：

【化 1】



【請求項 11】

リンカーが反復化学単位を含む、請求項 3 ~ 9 のいずれか一項に記載の免疫刺激性オリゴヌクレオチド。

【請求項 12】

反復化学単位が、2 回から 12 回の間で反復される、請求項 11 に記載の免疫刺激性オリゴヌクレオチド。

【請求項 13】

反復化学単位が、エチレングリコールである、請求項 11 に記載の免疫刺激性オリゴヌクレオチド。

【請求項 14】

リンカーが、ヘキサメチレングリコールを含む、請求項 11 ~ 13 のいずれか一項に記載の免疫刺激性オリゴヌクレオチド。

【請求項 15】

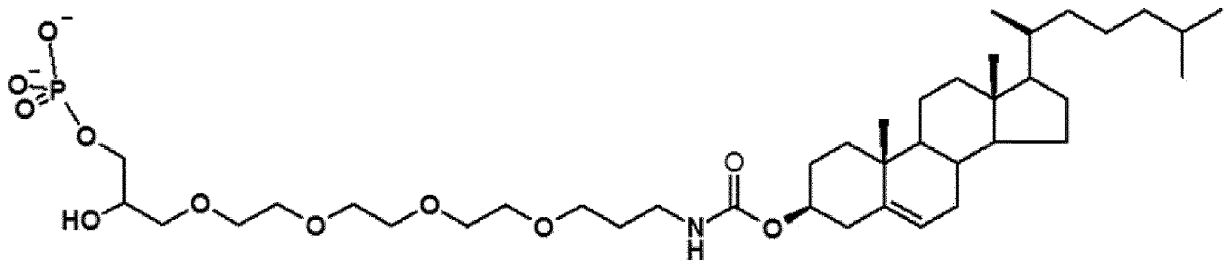
コレステリル部分が、リンカーと共有結合してコレステリル - リンカー部分を形成する、請求項 11 ~ 14 のいずれか一項に記載の免疫刺激性オリゴヌクレオチド。

【請求項 16】

以下の構造を有するコレステリル - リンカー部分を含む、請求項 15 に記載の免疫刺激

性オリゴヌクレオチド：

【化 2】



【請求項 17】

請求項 1 ~ 16 のいずれか一項に記載の免疫刺激性オリゴヌクレオチドを含む免疫刺激性組成物。

【請求項 18】

感染性疾患を予防又は治療するためのワクチンをさらに含む、請求項 17 に記載の免疫刺激性組成物。

【請求項 19】

ベクターをさらに含む、請求項 17 又は 18 に記載の免疫刺激性組成物。

【請求項 20】

薬学的に許容される担体をさらに含む、請求項 17 ~ 19 のいずれか一項に記載の免疫刺激性組成物。

【請求項 21】

リンカーを介してコレステリル部分を TLR9 リガンドの 3' 末端に付着させることを含む、TLR9 リガンドの免疫原性を増強する方法であって、ここで、TLR9 リガンドは、少なくとも 1 つの CpG モチーフを有するオリゴヌクレオチドである、方法。

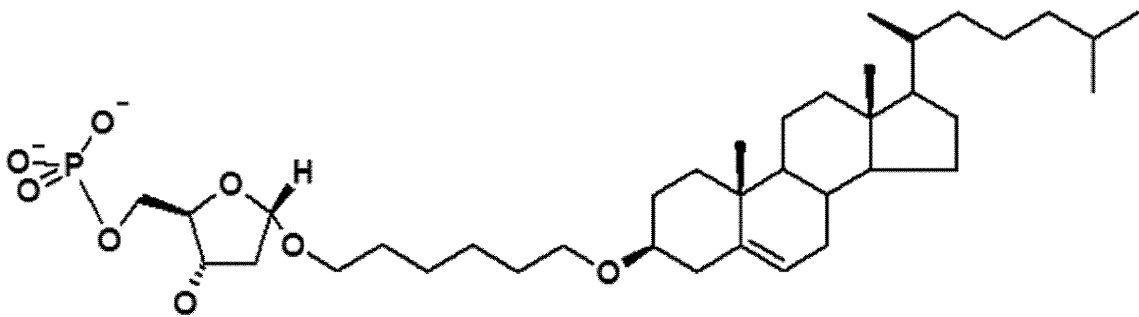
【請求項 22】

コレステリル部分が、リンカーに共有結合してコレステリル - リンカー部分を形成する、請求項 21 に記載の方法。

【請求項 23】

コレステリル - リンカー部分が、

【化 3】

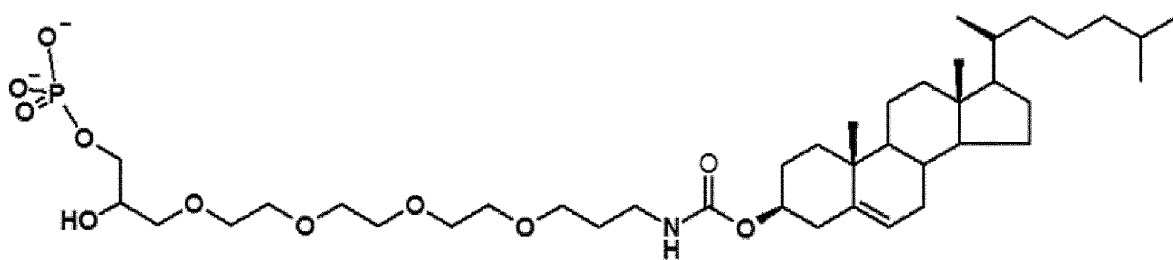


を含む、請求項 22 に記載の方法。

【請求項 24】

コレステリル - リンカー部分が、

【化 4】



を含む、請求項 2 2 記載の方法。